

# 平成24年度 新潟大学歯学部同窓会学術セミナーのご案内

- 1 有病者の歯科治療と摂食・嚥下リハビリテーション
- 2 口腔内写真撮影
- 3 メンテナンス／有病者の歯科治療・情報収集

平成24年度同窓会学術企画第3弾の募集案内をさせていただきます。

今回は「若手、もしくは復帰を考える女性歯科医師を対象とした講演会」の2回目として、それぞれの分野で活躍されている3名の講師による講演を企画いたしました。「有病者の歯科治療と摂食・嚥下リハビリテーション」は本学摂食・嚥下リハビリテーション学分野の谷口裕重先生、「口腔内写真撮影」は本学歯科総合診療部の田口裕哉先生、また「メンテナンス／有病者の歯科治療・情報収集」は本学歯科総合診療部の中島貴子先生に講師をお願いいたしました。3人の先生方はそれぞれの分野の一線でご活躍されているとともに、学部学生や研修医に対する教育のスペシャリストでいらっしゃいます。若手の先生方だけでなく、ベテランの先生方にも有意義な講演内容です。先生方におかれましては奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

<b>日 程</b>	平成25年2月3日(日) 10:30～16:00(終了予定)
<b>形 式</b>	講義
<b>会 場</b>	新潟大学歯学部学部大会議室(2階)
<b>定 員</b>	50名
<b>参 加 費</b>	4,000円(昼食、テキスト代等含む)
<b>申し込み方法</b>	4ページに記載
<b>振り込み先</b>	受講申し込み受付票に指定の口座
<b>締め切り</b>	平成25年1月11日(金)
<b>問い合わせ先</b>	同窓会学術(gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp)

※当日の申し込みはできませんのでご注意ください。

※申し込みが定員に達した場合は同窓会学術のホームページにてお知らせいたします。

※自家用車の駐車は医歯学総合病院の駐車場をご利用下さい。

※キャンセルの場合、基本的に受講料の返金はありません。ただし、代理出席は可能です。受講者が変更になる場合には事前にご連絡ください。

主催：新潟大学歯学部同窓会

## 1 有病者の歯科治療と摂食・嚥下リハビリテーション

今日の超高齢社会において、我々医療職には果たさねばならない様々な義務があります。歯科医が果たさなければならない責務とは何かを考えると、従来の歯科治療のみにとらわれず、要介護高齢者の「食」を守ることが大切であると思われま

す。日本は、歯科が摂食・嚥下障害の臨床をリードする世界でも例を見ない国です。これは、食べることが「口」から始まり、口腔機能こそが食べるために最も重要な器官であることと密接に関係しているものと思われま

す。一方、摂食・嚥下障害の臨床は、歯科のみで完結するものではなく、他職種との連携を必要とします。介護の現場で、看護師や介護士に食事介助やリハビリテーションについて話を聞くと、『このままではいけないというのは分かっているが、責任はとれないしどうしたらいいかわからない』という声を聞きます。そこでは、誰かがイニシアチブを取って、正しい診断と明確な方針をもって指導をする必要がありますが、これを担えるのが歯科医であると考えま

す。摂食・嚥下のリハビリテーションを成功させるためには、基礎的な知識の蓄積と必要な技能を明確化することが重要です。本セミナーでは摂食・嚥下障害の概要と、実際の臨床現場において応用できるリハビリテーション手技を紹介したいと思います。

本セミナーを通して摂食・嚥下リハビリテーションは特別な事ではなく日常臨床の一部であると再認識していただければ幸いです。

## 2 口腔内写真撮影

口腔内写真はどんな時に撮りますか？何か特別な処置をするときだけですか？現在の日常臨床において、口腔内写真の存在は欠かせないものとなりつつあるように思います。特にフィルムからデジタル化された現在では、以前のように現像の手間や保管場所等の問題も考えなくてよくなり、その場で患者さんに見せて説明したり、手軽にその患者さんの経過を見返すことができるなど便利な存在となりました。

口腔内写真を撮ることの利点としては、患者さんへの説明に利用できる、記録を残すことで症例の経過を振り返ることができる、他の歯科医師や歯科技工士、歯科衛生士との意見交換のための情報伝達ツールとして利用できるなど様々なものが考えられます。記憶はどんどん薄れていきますが、写真の記録が残っていればいつでも以前の状態を思い出すことができます。

しかしながら日々の忙しい臨床の中では、口腔内写真を継続して撮影していくということは、時間や手間がかかるうえに、患者さんにも負担をかけてしまうため、撮りたいと思っていてもなかなか実践できていないというのが実情だと思います。それでも口腔内写真には、我々歯科医師にとって重要な情報がたくさんつまっており、口腔内写真を撮影することの意義はかなり大きいと考えま

す。そこで今回のセミナーでは、口腔内写真撮影を行うに際してのポイントや撮影した写真の管理、画像の処理方法などについてもお話しできればと思っています。

### 3 メインテナンス／有病者の歯科治療・情報収集

歯科医院を定期的を受診する人口が増え、メインテナンスの重要性が浸透してきた。また、高齢化社会を迎え、場合によっては積極的治療よりもQOLの維持に力点をおいた歯科医療の需要が高まっている。そのような社会的背景を踏まえ、個々の患者に則したメインテナンスとはどういうものかを考えてみたい。

高齢化社会の到来はまた、有病者の増加を意味する。医科に通院している疾患を持たない患者さんはいないくらい、有病者だらけである。そのような患者さんたちに歯科医療を行うには全身状態や服薬状況の把握が必須である。高血圧症、脂質異常症、狭心症・心筋梗塞・脑梗塞などの動脈硬化性疾患、糖尿病、悪性腫瘍、骨粗鬆症などは高頻度に遭遇する既往歴であるが、それらについて何を把握すべきか、医科主治医に対診する際にはこちらからはどのような情報提供を行い先方からは何を提供してもらうべきなのかについて整理する。また、近年話題になっている歯周病罹患と動脈硬化、糖尿病との関連についてのトピックスも少しだけ紹介したい。

#### 講 師：

谷口 裕重（新潟大学医歯学総合研究科 摂食・嚥下リハビリテーション学分野）

田口 裕哉（新潟大学医歯学総合研究科 歯科総合診療部）

中島 貴子（新潟大学医歯学総合研究科 歯科総合診療部）

#### タイムスケジュール：

10:00 受付開始

10:30～11:45 有病者の歯科治療と摂食・嚥下リハビリテーション  
谷口 裕重

11:45～13:00 昼食

13:00～14:15 口腔内写真撮影  
田口 裕哉

14:30～15:45 メインテナンス／有病者の歯科治療・情報収集  
中島 貴子

各講演は1時間を予定し、各講演後に15分程度の質疑応答を予定しています。

## 申し込み方法

- \* セミナー申し込み方法はメール（携帯メール可）での受付のみとなります。FAXによる受付は行いません。お間違いの無いようご注意ください。
- \* メールの到着順に、定員内の方には「申し込み確認票」をメールにてご連絡致します。申し込み確認票に参加費の振込先及び入金期日を記載致します。入金期日までに参加費をご入金ください。期日までに入金がない場合にはキャンセルとして扱わせていただきます。
- \* 定員外となった方は、自動的にキャンセル待ちとさせていただきます。定員外の場合にも、「キャンセル待ちのお知らせ」をメールにてご連絡致します。
- \* 「申し込み確認票」もしくは「キャンセル待ちのお知らせ」がメール送信1週間後にも届かない場合には、何らかの問題でメールが届かないトラブルが考えられます。再度お申し込みいただきますようお願い致します。

以下の必要事項を同窓会学術アドレス（[gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp](mailto:gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp)）にメールにてご連絡ください。メールのタイトルは「同窓会学術セミナー申し込み」としていただきますようお願い致します。

### 必要事項

氏 名：

出身大学：

何 年 卒：

住所(含郵便番号)：

電話番号：

メールアドレス：